

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

事務事業名		指定工事業者指導管理事務				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 040701000117	
総合計画の施策名		0407 下水道の整備				単独		070101	
政策名		04 快適で潤いのある生活環境づくり				主要事業		所属課 下水道課	
施策名		07 下水道の整備				市長マニフェスト			
基本事業名		01 下水道の接続及び浄化槽の設置				未来PJ事業		グループ 業務G	
		合併建設計画事業				合併建設計画事業			
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		公共下水道事業特別会計				単年度繰返し (平成17年度~)			
会計		公共下水道総務事業				期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
05									
01									
01									
01									
02									
00									
法令根拠									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 桜川市下水道条例に基づき、排水設備主任技術者の資格を有する排水設備工事指定工事店の登録を行う。 排水設備主任技術者の試験、登録、更新の受付を行う。 排水設備の設置申請受付及び確認事務を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定工事店申請、登録手数料 (新規・更新) -受付・内容点検-指定工事店登録-登録書交付

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
指定工事店申請、登録手数料の受付、交付、指導管理、窓口業務の協会の代行	指定工事店新規登録及び更新件数	件	25.00	9.00	10.00	10.00	10.00
	排水設備主任技術者受験者及び更新者数	人	20.00	15.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
指定工事店	下水道指定工事店	件	130.00	136.00	136.00	136.00	136.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
一定の水準の技術を身に付けてもらう、試験により資格を保有できる。	確認時の指導件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定総投入量
量	人件費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	2	2	32	50	50	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	-20	-20	0
		事業費計 (A)	2	2	32	30	30	0
正規職員従事人数	人	0.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
述べ業務時間	時間	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00		
人件費計 (B)	千円	319	319	319	319	319		
トータルコスト (A)+(B)	千円	319	321	351	349	349		

事業費の内訳	27年度事業費 実績 (千円)			28年度事業費 予算 (千円)		
	金額	件数	備考	金額	件数	備考
12 役員費	2			2		
19 負担金補助及び交付金				30		
合計	2			32		

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業	・排水設備主任技術者の資格を有する指定工事店の登録 ・試験、登録、更新の受付 ・排水設備の設置申請受付及び確認事務	・排水設備主任技術者の資格を有する指定工事店の登録 ・試験、登録、更新の受付 ・排水設備の設置申請受付及び確認事務	・排水設備主任技術者の資格を有する指定工事店の登録 ・試験、登録、更新の受付 ・排水設備の設置申請受付及び確認事務

事務事業名	指定工事業者指導管理事務	事務事業No.	40701000117	所属課	下水道課
-------	--------------	---------	-------------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 下水道供用開始当初からで、指定工事店の指定・更新の事務を行っている。 平成17年10月の合併以後は制度として公共下水道の指定工事店になれば、自動的に農業集落排水事業の指定工事店になるようにしている。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 地元業者育成に役立っているとの意見がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現在の事務は適切かつ最小限の経費で実施されていると思われる。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	不明水侵入等のない下水道管や処理場の維持管理を行うためには、各家庭からの接続工事は信頼できる業者による技術水準の高いものでなければならない。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	信頼できる排水設備工事を行うためには、行政から業者に対する技術指導や監督が重要である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない	本事業について市が行う事務は、指定工事店の指定と排水設備工事の検査であるため、さらに成果を向上させる方法はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	本事業を休止または廃止した場合は、各家庭・事業所から下水道への接続が自由になるので、下水道への無断接続や不明水の多発が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名 類似した事業として水道の指定工事店があり、水道と下水道両方の指定を受けている工事店は多いが、工事施行の内容が異なることから統廃合・連携は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げるに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない	本事業について市が行う事務は、指定工事店の指定と排水設備工事の検査であるため、さらに成果を向上させる方法はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	県と指定工事店との関係事業の為、受益機会等の評価はできない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本事業は各家庭・事業所から下水道に接続する為の必要不可欠な技術水準を確保するものであり、現在の事務は適切かつ最小限の経費で実施されている。信頼できる排水設備工事を行うためには、行政から業者に対する技術指導や監督が重要であり、更なる向上心が要求される。																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑧																							
		コスト削減優先度評価結果	⑥																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認